

INTRODUCTION まえがき

“Watt’s Next” 2026について

本書発行日の2026年10月1日、私たちは電力会社で初となる純粋持株会社「キューデンホールディングス株式会社」を設立し、キューデングループの新たな1ページを描き始めました。

本書では、2027年4月の純粋持株会社体制への本格移行に向けて、体制移行の目的・思想から実効的な体制整備の状況、実際に事業に従事する従業員や社外取締役といった関係者の受け止めまで、読者の皆さまに深くご理解いただけるように内容を充実させました。

また、全編にわたり、これまで私たちが培ってきた強みだけでなく、顕在化する経営課題も踏まえながら一貫した成長ストーリーをお伝えしています。

本書を通じて、いま私たちが描く、未来への確かな道筋をご確認ください。



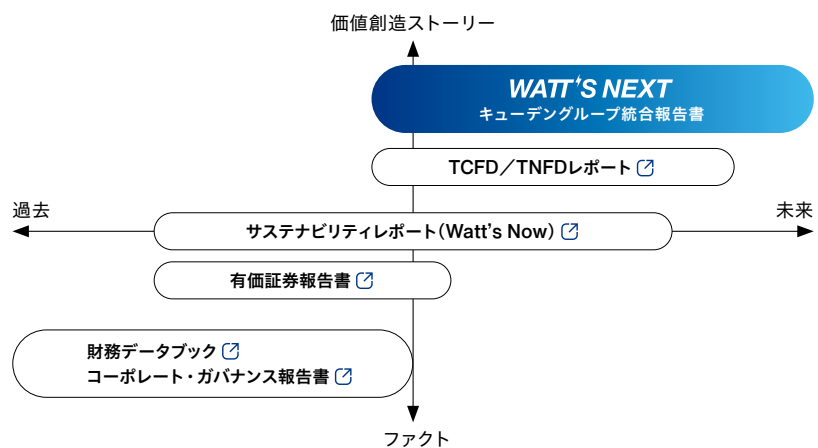
“Watt’s Next” 2026制作チーム一同

情報開示の全体像

当社グループでは、主要財務データ及び関連指標等を掲載する財務データブックや、サステナビリティ経営の取組みを網羅的に紹介するサステナビリティレポート(Watt’s Now)、環境関連財務情報を統合的に開示するTCFD／TNFDレポートなど、目的に応じて当社グループを多面的にご確認いただけるように役割分担を明確にした情報開示を行っています。今年度は特に、これらの開示媒体間の連動性向上も意識して制作にあたりました。

情報開示全体像において、“Watt’s Next”(キューデングループ統合報告書)は、当社グループの中長期的なビジョンや戦略を基軸とし、財務・非財務を統合した価値創造ストーリーの訴求を目的としています。必要に応じて本書のリンク等から関連レポートをご確認いただくことで、より一層当社グループの取組みをご理解いただけます。

なお、有価証券報告書では、現在はSSBJ基準(サステナビリティ開示基準)に準拠した開示を行っていませんが、2029年3月期における開示を目指して鋭意検討を進めています。



ROIC経営の推進

当社グループは、2023年度にROICを経営指標として導入し、以降、経営への浸透・推進を図ってまいりました。今後の純粋持株会社体制下の事業運営においては、各事業領域における出資・設備投資等のもとより、非財務の施策においても、ROICを意識した取組みの重要性が一層高まってきます。

後段の「Action」パートでは、特に非財務の取組みにおいてもROIC経営への貢献度が分かるように、「ROIC-WACCスプレッド」による可視化を行いました。

ROIC-WACCスプレッド最大化

